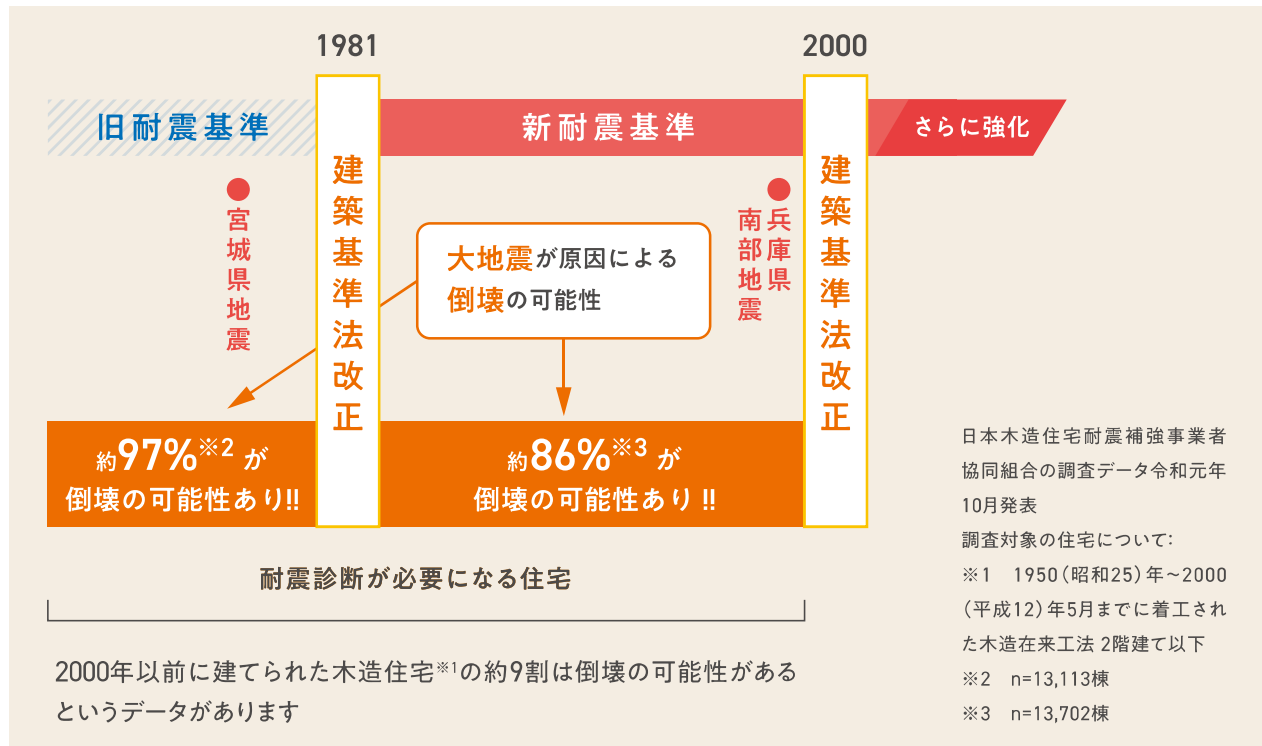


耐震の基礎知識

国が定める耐震基準は時代によって変わっています。

「2000年以降に建築されたかどうか」が新たな目安に!



2000年以前に建てた住宅には耐震診断を!

LIXILのこちりノベなら、一軒一軒の住宅を耐震診断のうえ、「評点1.0以上」の安心して暮らせる家をつくれます。

上部構造評点に基づく耐震性の判定

1.5 以上	倒壊しない
1.0 以上~1.5 未満	一応倒壊しない
0.7 以上~1.0 未満	倒壊する可能性がある
0.7 未満	倒壊する可能性が高い

補強工事

施工前に、家の構造や周辺の立地環境などを調査。耐震性に問題のないレベルの住宅かどうかを判断します。もしも基準に満たなかった場合、適切な補強、耐震計画のもと、補強工事、耐震工事を行い、日本建築防災協会の基準に基づく上部構造評点1.0以上になるよう、耐震補強を行います。

(一般財団法人) 日本建築防災協会

住まいの耐震性の不安は、リノベーションで解決できます。

耐震診断の流れ

現場調査	家の今の状態を調査 - 着工時期の確認 - 周辺の地盤・地形調査 - 床下・小屋裏の木材の状態や、基礎の確認 - 筋交い・柱頭・柱脚接合部の確認 - 図面の確認
診断	(一般財団法人) 日本建築防災協会の基準に基づいて耐震診断を実施
補強計画	耐震性能向上のために必要な補強工事を計画 基準をクリアするまで繰り返す
再診断	基準をクリアする補強かチェック
耐震補強工事	補強計画のとおり実際に施工

※工事の内容によって建築確認申請が必要になる場合があります

現場調査の一例

コンピューター
耐震診断

住まいの間取りや各部位の劣化具合など、現場調査で明確になった数々のデータをコンピューター入力し、地震に対する強度を数値化して、住まいの耐震性能を総合的に診断します。



耐震診断結果に応じて、耐震補強を行います。

耐震診断の結果、倒壊する可能性があるとは判定した場合は、倒壊しないためにどのように建物を補強するか、最適な補強計画に基づいた補強工事を行います。※補強工事は費用、工期など様々な要点を考慮して行います

主な耐震補強のポイント

○ 耐力壁の適切な配置、補強

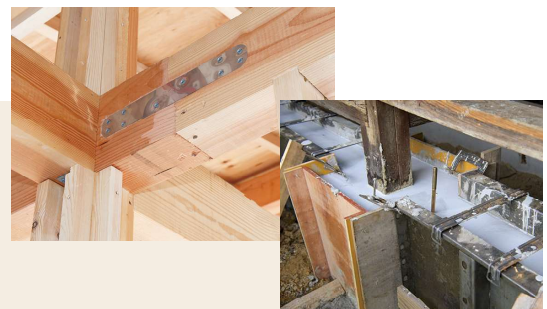
筋交いや面材で耐力壁の補強を行い、壁の強度を高めます

○ 基礎の補強

基礎が弱い場合、基礎を補強して建物を支える力を高めます

○ 屋根の軽量化

軽量の屋根材に葺き替えることで、建物の揺れや建物を支える構造部分にかかる負担を軽減できます



LIXILリフォームショップは、お客様の大切なご家族と財産を守るため、最適な耐震リフォームをご提案します